



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

会 長 今井 武彦
副 会 長 森本 晴生
直前会長 城井 廣邦

2019年7月 ~ 2020年6月
国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」
アジア会長主題 「アクション！」
東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」
東新部部長主題 「心を尽くして、YMCAのために」

書 記 鈴木 健彦
会 計 高津 達夫
担当主事 星野 太郎

2019年 12月本例会 (694回)

(強調月間 : EMC-MC)

今月の聖句

それを見て、羊飼いたちは、この幼子について語られることを人々に知らせた。(ルカによる福音書 2:17)

And when they saw it, they made known the saying which had been told them concerning this child.

YMCAオープンハウスに参加しよう

日時 : 12月15日(日) 集合 : 9:00

場所 : 東京YMCA東陽町センター

12月 クリスマス本例会

日時 2019年12月17日(火) 18:00~21:00

場所 クリスマス礼拝 (TYISカフェテリア)

クリスマス祝会 (YMCAホール)

会費 2,500円(今年度より会費制になりました)

12月 EMC-MCについて

Eは新クラブ設立、MCは新会員獲得と会員意識の高揚の意。ワイズメン運動の拡大強化を図る。絶えざる課題とし努力を続ける必要がある。(ワイズ用語参照) むかでクラブはクラブ再構築の要がある!?! 新しい仲間をふやす工夫を、智慧を、汗を! (神保 記)

HAPPY BIRTHDAY

9日 高津寿江 10日 吉田 司 28日 伊丹一之

結婚記念日おめでとう

10日 吉田 司・紘子

12月本例会 プログラム

準備 メンバー全員17:00集合 受付 高津 達夫

第1部 クリスマス礼拝 (18:00~18:30)

司 式 高津 達夫

奏 楽 丸山もと子

クリスマスメッセージ 牧 師 石丸 泰樹

クリスマス献金 (東京YMCA国際協力募金)

第2部 クリスマス祝会 (18:30~21:00)

司 会 城井 廣邦

開会点鐘 会 長 今井 武彦

ワイズソング 一 同

ゲスト・ビジター紹介 司 会

今月の聖句・感謝 高津 達夫

「むかで “メリークリスマス” パーティー」

むかで少年合唱団

強調月間アピール 神保伊和雄

諸 報 告 各担当者

ハッピーバースデー・結婚記念 司 会

閉会挨拶 副会長 森本 晴生

閉会点鐘 会 長 今井 武彦

2019年 11月の記録 (*累計は期初からの24累計)

会 員 出 席 状 況		メーキャップ記録 1名	スマイル	8,002 円
正 会 員	13 名	出席(メネット) 0 名	神保伊和雄 10/26 興望館	BFポイント 現金累計 0 円
功労会員	1 名	出席(コメント) 0 名		切手累計 0
在籍者数	14 名	出席(ゲスト) 1 名		
出席(正会員)	11 名	出席(ビジター) 0 名		リングプル 累 計 692.90 Kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数 13 名	11月出席率 92%	むかで基金 今月分 19,002 円

会費振込先 みずほ銀行 津田沼支店 普通預金 2406490 東京むかでワイズメンズクラブ

11月本例会報告

東京むかでワイズメンズクラブ11月本例会は、2019年11月19日(火)午後6時30分より、東京YMCA東陽町センター1階TYISカフェテリアにおいて開催。司会は森本晴生君、今井武彦会長の点鐘で開会し、ワイズソングを歌い、高津達夫君による聖句と感謝ののち、食事となりました。

食後は、東京YMCA野尻キャンプディレクターである三浦壮一郎氏に「野尻学荘の今とこれから」というタイトルで、卓話をいただきました。【写真下】



氏はまず自己紹介と自身が中学1年から野尻学荘のキャンプに参加されたことを話された。継いで野尻学荘キャンプの推移と参加者の減少していく様子を、グラフを用いて示された。氏は現状の改善を目指すためアメリカのキャンプに参加し、参考となる運営方法を検討された。

勿論改善にはハード面(キャンプ場の整備)の改善とソフト面(運営方法)の改善、両者を実行する必要があるが、今年度は直ぐに実施できる3つの点に力を入れてソフト面の改革から始めた。

1. 募集方法

従来(2ヶ月前)よりずっと早くキャンプの案内、募集を始める。これによって参加希望者がキャンプの内容やキャンプに参加するかどうかを検討する期間ができる。

2. 家族との連絡方法

キャンプと家族が連絡を取り合えるメールアドレスの作成。従来は電話連絡だけであったので、担当者がキャンプ場に行ってしまうので連絡が大変不便であった。

3. キャンプの紹介方法

募集内容の紹介に特に女性の目線に立ったように作成した。男子だけの二週間のキャンプに対して母親の理解を得られることの重要性を念頭に置いた。

その結果、早い時期から参加希望者が集まり、50名以上のキャンプとなった。より多くの参加希望者があったが、リーダー等の受け入れ体制が整わず、何人かはお断りしなければならなかった。

今年度の検討項目として、募集要項公開の前倒し、早期参加申込者に特典を与えるかどうか、リーダーの育成強化等を検討するとのことであった。

卓話の後オークションが行われ、メネットの協力で提供された手作りケーキ等が喜んで買われた。続いて強調月間アピール、スマイル、鈴木健彦君の閉会挨拶で閉会しました。(鈴木 記)

出席者:今井、伊丹、城井、新藤、吉田、鈴木、高津、長谷川、森本、星野、櫻井
ゲスト: 東京YMCA野尻キャンプディレクター
三浦壮一郎氏

第2回 東新部評議会 報告

11月16日(土)13:30より東京YMCA本部6階会議室にて、2019-20年度第2回東新部評議会が開催されました。

小川部長の開会点鐘・挨拶、全員でワイズソング斉唱、村野事業主査による聖書朗読・祈祷が行われた。以降小川部長司会で議案審議が行われた。第1号～第5号議案が審議されたが、開催日当日に審議未了となった議案もあった。

後半は、7月以降の活動報告が、小川部長、寺門会計、部各事業主査からあった。最後に、部所属の7クラブより期初からの活動状況の報告があった。(今井 記)

出席者:今井、高津、伊丹

「川口 こども 食堂」 報告

川口元郷の駅前広場も秋の気配に染まる11月12日(火)午後4時半過ぎに訪問しました。

この日も子供達の自転車数が数台並び、設営途中のテーブルで持参のゲームをしながら食事待ち。厨房では井上夫人、奈保牧師夫人、中井さん、初めてお見受けした西側隣家・小林夫人の4人が、早く見える子供たちを見越し、調理作業中。私共は設営のお手伝いもそこそこに子供達の仲間入り。ご主人の井上さんから声がかかり、男性陣は隣接井上宅のダイニングに移動、角丸の心地良いテーブルを囲みました。

ここに建っていた元ベーカーリーの建物を購入したのが29才時、一年後に北側隣家をご両親が購入、ご両親と井上ご夫妻のパン造りと3人の子育て生活が始まります。

作業は翌日の仕込が深夜に及び、早朝から釜入れ等で、3、4時間の睡眠時間が日常、加えて土、日曜日がかき入れ時で、子育てにまで手が回らない日々でした。そんな折、ある教会が子供たちの食事は勿論、日常の場まで提供して下さいました。「・・・あの方達は どうしてそこまで・・・」の想いを強くし、以後、感謝の念の中、その想い

を自身の信念に重ね、地域社会との関わりを大切にされます。スタッフと一緒に厨房で調理される隣家 小林さんの作業姿に繋がります。

新築工事は限られた敷地条件、7mものコンクリート杭40数本の打ち込み作業などが続き、隣家の小林邸に最も工事の影響が続いた筈です。小林さんの作業姿からの繋がりとというメッセージを重く感じた時間でした。

工房越しに3階の教会から1階に降りてきた子度達の気配を感じ、私共も合流、7時半過ぎの解散になりました。

メニュー:メンチカツ、卵焼き、ひじきの煮物、

かぶの酢の物、みそ汁、ご飯

ゲスト数:子供達 29名、父兄 8名、スタッフ 9名

出席者:鈴木、神保、長谷川 (長谷川 記)

クリスマス・オープンハウスのご案内

2019年度「東京YMCAクリスマス・オープンハウス」は、12月15日(日)AM10時から東陽町コミュニティーセンターで開催されます。

当むかでクラブは他の協力団体と共に、アトリウムでの模擬店「むかでカレー」の店で協力いたします。「むかでカレー」は毎年、地域特に子供たちに人気模擬店で、約200～250食を期待されています。

「むかでカレー」の具材は、大手食品メーカーから約250食分のビーフレトルトカレーの提供品です。これには、玉ねぎ、じゃが芋、人参などを補充しなければカレー食になりません。メンバーの皆様、下記の食材を炒めて当日又は前日ご持参願います。200～250食を確保するためには、5～6人の方の協力が必要です。

玉ねぎ 10～15個(1cm幅の細切り)

じゃが芋 7～10個(2cm角のサイコロ)

人参 3～5個(1cm幅)

これを現場で温めたレトルトカレーに順次、補充しつつ200～250食を確保いたします。是非ご協力の程お願いします。

また、ライスは、20～25kgの炊飯になります。炊飯は、当日、東陽町センターの大型炊飯器が使用します。

当日(15日)は、9時に集合でお願いします。カレー食材を扱いますので、エプロン、タオルをご持参下さい。

(高津 記)

11月第二例会報告

11月第二例会は、26日(火)午後6時30分から東京YMCA東陽町センター1階TYISカフェテリアで開催されました。主な協議事項は下記の通り。

1. ブリテンの編集内容及び記事の執筆者の決定
2. 神戸ポートクラブ・クリスマス例会に神保君が参加

3. オープンハウス参加者確認

4、3月例会卓話者:南センター担当主事・池田麻梨子氏
出席者:今井、高津、長谷川、鈴木 (鈴木 記)

会長通信

「12月はクリスマス！」日本では、自分たちの“お楽しみ”の時と勘違いしている人が多いのではと、最近、特に、思うようになりました。

新約聖書の「ルカによる福音書」2章のイエス・キリストの降誕物語は、野宿しながら羊の群れの番をしていた羊飼いたちに主の天使が現れ、『今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼ひ葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。』と告げるのです。そして羊飼いたちは心を踊らせてベツレヘムの町に行き、幼子を捜しあてます。

このメッセージは、当時のユダヤにおいて、最も貧しい人たちであった羊飼いに「幼子イエスの降誕」が最初に告げられたということです。しかも、幼子イエスは、人間存在の極限たる厩の飼ひ葉桶に寝かされていたのです。

私たちは、今一度、この聖書物語を「こころ」に留めてクリスマスを迎えたいものです。今なお世界には多くの恵まれない方々が存在しているのだと。(今井 記)

<12月の予定>

3日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会

3日(火) 東京多摩みなみ・12月本例会

9日(月) 東京町田コスモス・12月本例会

10日(火) 東京・12月本例会

11日(水) 東京センテナリアル・12月本例会

15日(日) クリスマス・オープンハウス(カレー担当)

17日(火) 東京むかで・第二例会 16:00

17日(火) 東京むかで・12月クリスマス本例会 18:00

18日(水) 東京町田スマイリング・12月本例会

20日(金) 東京世田谷・12月本例会

<1月以降の予定>

7日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会

11日(土) 在京ワイズ新年会

(YMCA社会体育・保育専門学校)

14日(火) 東京むかで・東京・東京たんぽぽクラブ合同
1月本例会(東陽町センター)

28日(火) 東京むかで・1月第二例会

2月1日(土) 東日本区Change! 2022シンポジウム
(YMCA社会体育・保育専門学校)

2月15日(土) 東新部フレッシュワイズセミナー
(東京YMCA山手センター)

会員近況報告

「下田便り 2」

功労会員 櫻井浩行

10月16日、いったん退院し下田の自宅へ戻ってきたが、減塩の食事は病院時の食事と変わりがない。メネットが軽量カップと睨めっこして、いつもの倍の時間をかけて料理を作ってくれる事に感謝している。

11月6日に再診のため上京し、日赤医療センターにて血液検査の結果、やはり血液透析を宣告された。即入院の手続きを終え、中一日おいて入院。この機を逃してなるものかと、入院前日は上野の東京国立博物館「文化財よ、永遠に」仏像を中心に修復した文化財を拝観し、上野の森美術館「ゴッホ展」を観た。いよいよ明日は入院、週3回、1回に4時間の透析とはどんなものか、全身の血液を抜きフィルターを通して不純物を取り元の体に戻すことは、何とも不思議な事である。

寝不足のまま午前11時に入院し、何と午後2時より第1回目の血液透析が始まった。採血用の針より太い針で「イン」「アウト」の2本の管を左手に刺し、あれよあれよとみているうちに鮮血が流れていく。そして気が付くと暫し寝ていたことになる。今回は始まったばかりなので3時間の透析になるとのこと、術後は風呂上がりの時のように全身が“ほてる”感じ。人により具合が悪くなるなど色々な変化があるようだが、僕は心持ち軽くなったような気がした。2回目が過ぎたあたりから全身の水分が無くなり「むくみ」が無くなりスリムな体になっていく。透析の経過が良いのでこの病院での治療は終えて、下田の透析専門のクリニックへ通院することになる。(続きは次号で)

東京YMCAニュース

◆台風19号復興支援、長野で泥かきワークを実施

11月22日夜から24日、東京YMCAの学生・職員計15人が長野市北部で泥かき作業を行いました。



泥に浸かった柱や床の清掃は非常に手間がかかり、作業にあたったボランティアたちは、「10回くらい拭いても泥が落ちない」「板の目や窓のさんなどから次々と泥が出て

きて、押し入れの拭き掃除だけで1日かかった」と苦戦。床下は乾燥させなければならぬため高圧洗浄機は使えず、固まった泥はヘラで削り、ひたすらに雑巾がけを続けました。



作業後この家主さんは、「家がきれいになると、心も軽くなって前向きになれる」と喜んで、浸水を免れたリンゴをお土産にくださいました。前向きに生きる姿に、ボランティアに行った私たちの方が勇氣と元気をいただくことができました。

今回のボランティア派遣にかかる宿泊交通費などは、皆さまからお預かりした募金を充てました。また宿泊場所には、「東京YWCA野尻キャンプ」をご提供いただきました。皆さまのご厚志によって作業ができましたことを感謝してご報告します。(星野 記)

11月会計報告他

1. 月間収入・支出合計 期間11/1～11/30

口座名	月間収入額	月間支出額
一般口	50,000円	18,378円
ファンド口	19,002円	25,000円

一般口主収入 会費1名

一般口主支出 例会弁当代、通信切手費、卓話謝礼

ファンド口主収入 スマイル、ミニオークション

ファンド口主支出 子供食堂、オープンハウス

・詳細金額ご希望の方は会計迄。(高津 記)

2. リングプル 11月預かり

協力者名	重量	協力者名	重量
長谷川正雄氏G	0.72kg	今月合計	0.72kg

報告数字が不確定です。12月例会までに再確認して報告します。申し訳ございません！(神保 記)

編集後記

いよいよ今年も師走を迎えました。今年も年号の変名がありましたが、平成の時ほど世間は騒がなかったようです。それにしても、今年も荒ぶる自然により大きな被害を出しました。何とか我々の営みと大自然との間に折合いをつけたいものです。(鈴木 記)